＜報道関係者各位＞

2026 年 11 月 24 日
株式会社イー・ラーニング研究所

約 9 割の親が、AI は子どもの学習に「役立つ」と回答する一方、約 7 割が AI 活用に「不安」を抱える結果に！

「子どもの AI 活用に関する意識調査」

～「情報を選び取る力」等の育成に期待が集まる中、AI の回答を正しく判断するための教育や土台づくりが重要に～

e-ラーニングに関するサービスの様々なコンテンツを提供する株式会社イー・ラーニング研究所（代表取締役：吉田智雄、本社：大阪府吹田市　以下、イー・ラーニング研究所）は、子どもがいる親世代を対象に「子どものAI活用に関する意識調査」を実施いたしました。その結果、親の約7割が「子どもは学習にAIを活用している」と回答し、9割以上がAIの学習活用に前向きである一方、約7割が何らかの不安を感じていることが明らかになりました。また、伸ばしたい力として「情報の選択力」「思考・判断力」が上位に挙がったほか、約半数が「学ぶ意欲・好奇心」も選び、AIを使いこなす土台となる非認知能力にも関心が寄せられていることがうかがえる結果となりました。

==========

【「子どものAI活用に関する意識調査」概要】

調査方法　：　紙回答

調査期間　：　2026年10月6日（火）～10月27日（火）

調査対象　：　子どもがいる親世代　計202人

※本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「イー・ラーニング研究所調べ」と明記してください

==========

調査結果概要

① **親の 8 割以上が AI 利用経験あり、約 7 割が「子どももすでに学習に AI を活用している」と回答！**
主な目的は「分からない問題の質問」や「調べ学習」など、日々の学びのサポートに集中。
⇒親自身の AI ツール利用経験は約 85%にのぼり、子どもも約 7 割が日常的・ときどき学習に活用していると回答。活用目的は「分からない問題を質問する」「調べ学習」「アイデア出し」が上位となり、家庭学習における身近なツールとして浸透しつつある様子がうかがえる結果に。

② **9 割以上の親が「AI は学習に役立つ」「今後も活用してほしい」と前向きに回答！**
伸ばしたい力は「情報を選び取る力」「自分で考え、判断する力」が上位に。
⇒ AI が子どもの学習に「役立つ」と回答した親は 93.1%、今後も「活用してほしい」と考える親は 91.6%と高い水準に。伸ばしたい力は「情報を調べ、必要な情報を選ぶ力」が最多で、「自分で考え、判断する力」が続く結果に。

③ **約 7 割の親が子どもの AI 活用に「不安がある」と回答！**
不安の内容は「依存」「正確でない情報の鵜呑み」「自分で考える力の低下」が上位に！
⇒AI 活用への期待が高い一方、72.8%の親が何らかの不安を抱えていることが明らかに。その内容としては「依存してしまう」「正確でない情報を信じてしまう」「自分で考える力が低下する」が上位を占め、利便性の一方で、思考力の低下や情報の真偽判断への懸念がうかがえる結果に。

④ **家庭での AI 活用に必要なサポートは「AI の回答を正しく判断・確認するための教育」が最多に！**
ツールやルール整備とあわせ、情報を自ら見極める力を育む教育へのニーズも高い結果に。
⇒家庭での AI 活用に必要なサポートとして、「AI の回答を正しく判断・確認するための教育」が最多となり、「子ども向けの安全なツール」「ルールやガイドライン」が続いた。ツールの整備に加え、情報の真偽を見極める力を養う教育への関心の高さがうかがえる結果に。

＜報道関係者お問い合わせ先＞
イー・ラーニング研究所　広報担当：鈴木・片岡
TEL:06-6339-4177　FAX：06-6339-4180　MAIL：marketing@e-ll.co.jp

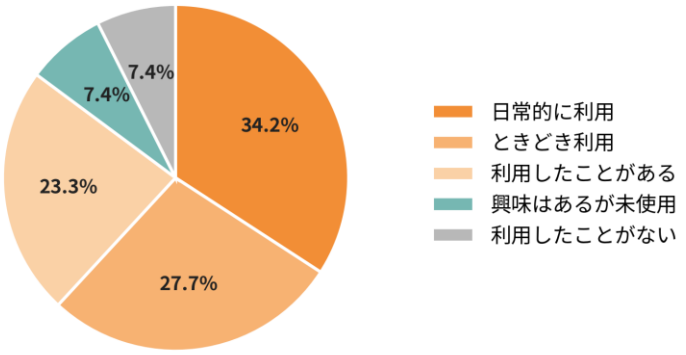
＜報道関係者各位＞

1. **親の 8 割以上が AI 利用経験あり、約 7 割が「子どももすでに学習に AI を活用している」と回答！**
   主な目的は「分からない問題の質問」や「調べ学習」など、日々の学びのサポートに集中。

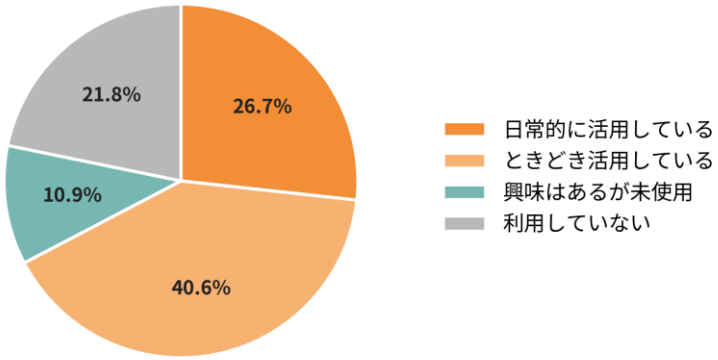
子どもがいる親世代に「あなたご自身は、ChatGPT などの AI ツールを利用したことがありますか？＜SA＞」と尋ねたところ、「日常的に利用」（69）、「ときどき利用」（56）、「利用したことがある」（47）を合わせて 85.1%（172 人）が利用経験ありと回答しました。また、「お子様は、ChatGPT などの AI ツールを学習に活用したことがありますか？＜SA＞」という質問では、「日常的に活用している」（54）、「ときどき活用している」（82）を合わせて 67.3%（136 人）にのぼり、親の約 7 割が、子どもはすでに学習に AI を取り入れていると捉えていることがわかりました。

さらに、活用していると回答した方に「お子様は AI をどのような目的で利用していますか？＜MA＞」と尋ねたところ、「分からない問題を質問する」（76）が最多となり、次いで「調べ学習」（63）、「アイデア出し」（49）が上位に挙がりました。このことから、家庭学習の中で疑問を即座に解消したり、発想を広げたりするツールとして AI が定着しつつあることがうかがえます。

Q. あなたご自身は、ChatGPTなどのAIツールを利用したことがありますか？＜SA=202＞

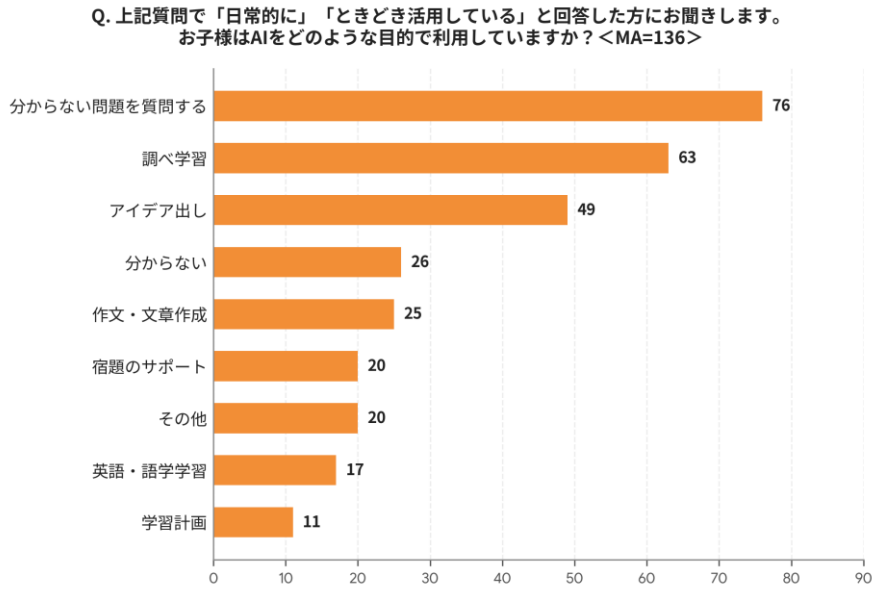


Q. お子様は、ChatGPTなどのAIツールを学習に活用したことがありますか？＜SA=202＞



＜報道関係者お問い合わせ先＞
イー・ラーニング研究所　広報担当：鈴木・片岡
TEL:06-6339-4177　FAX：06-6339-4180　MAIL：marketing@e-ll.co.jp

＜報道関係者各位＞

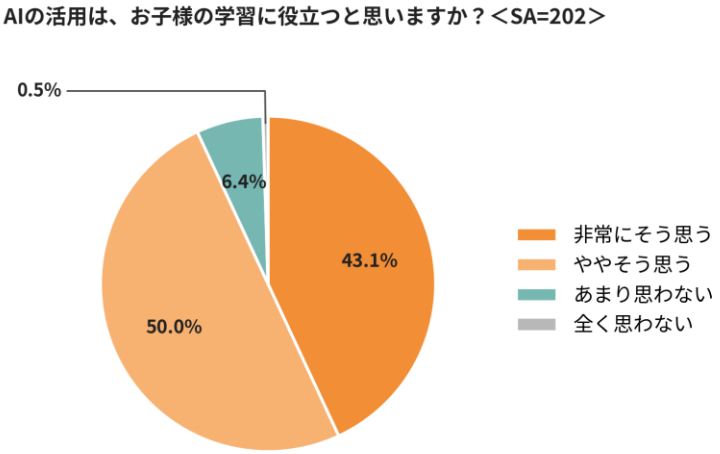


2. 9 割以上の親が「AI は学習に役立つ」「今後も活用してほしい」と前向きに回答！

伸ばしたい力は「情報を選び取る力」「自分で考え、判断する力」が上位に。

「AI の活用は、お子様の学習に役立つと思いますか？＜SA＞」と尋ねたところ、「非常にそう思う」(87)、「ややそう思う」(101)を合わせて 93.1%(188 人)が肯定的に回答しました。同様に、「今後、お子様に AI を学習目的で活用してほしいと思いますか？＜SA＞」でも、「積極的に活用してほしい」(70)、「ある程度活用してほしい」(115)を合わせて 91.6%(185 人)となり、9 割以上の親が今後の学習における AI 活用に前向きであることが明らかになりました。

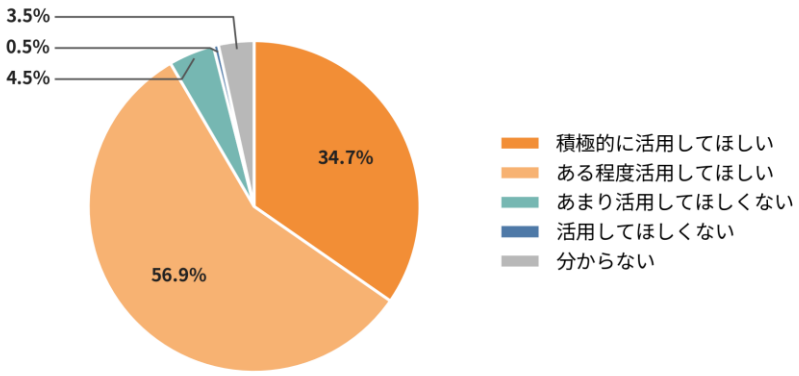
また、「子どもの学習に AI を活用することで、どのような力を伸ばしてほしいと思いますか？＜MA＞」という質問では、「情報を調べ、必要な情報を選ぶ力」(151)が最多となり、「自分で考え、判断する力」(119)、「問題を解決する力」(108)、「学ぶ意欲・好奇心」(99)が続きました。さらに、期待する効果としても「分からないことをすぐに質問できる」(112)に次いで「学習への興味・意欲が高まる」(107)、「自分で考えるきっかけになる」(98)が上位に挙がったことから、親は AI に対し、手軽に質問できる便利さに加え、思考力や探究心を育むきっかけとしても期待している様子がうかがえます。



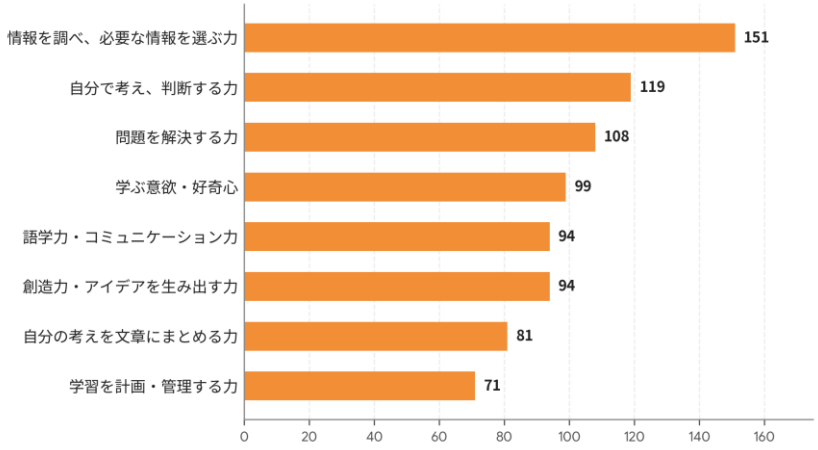
＜報道関係者お問い合わせ先＞
イー・ラーニング研究所　広報担当：鈴木・片岡
TEL:06-6339-4177　FAX：06-6339-4180　MAIL：marketing@e-ll.co.jp

＜報道関係者各位＞

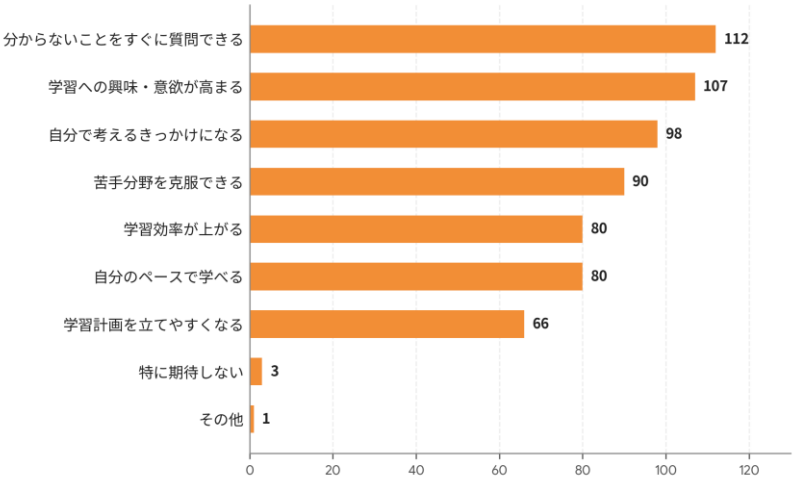
Q. 今後、お子様にAIを学習目的で活用してほしいと思いますか？＜SA=202＞



Q. 子どもの学習にAIを活用することで、どのような力を伸ばしてほしいと思いますか？＜MA=202＞



Q. 子どもの学習にAIを活用することで、どのような効果を期待しますか？＜MA=202＞



3. 約 7 割の親が子どもの AI 活用に「不安がある」と回答！ 不安の内容は「依存」「正確でない情報の鵜呑み」「自分で考える力の低下」が上位に！

AI 活用への期待が高い一方で、「子どもの AI 活用に対して、不安を感じますか？＜SA＞」と尋ねたところ、「非

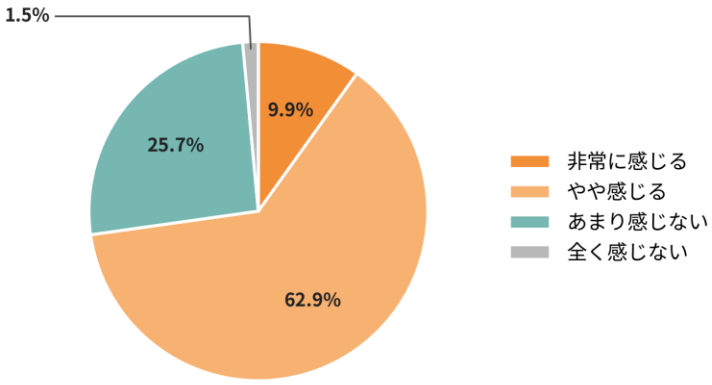
＜報道関係者お問い合わせ先＞
イー・ラーニング研究所　広報担当：鈴木・片岡
TEL:06-6339-4177　FAX：06-6339-4180　MAIL：marketing@e-ll.co.jp

＜報道関係者各位＞

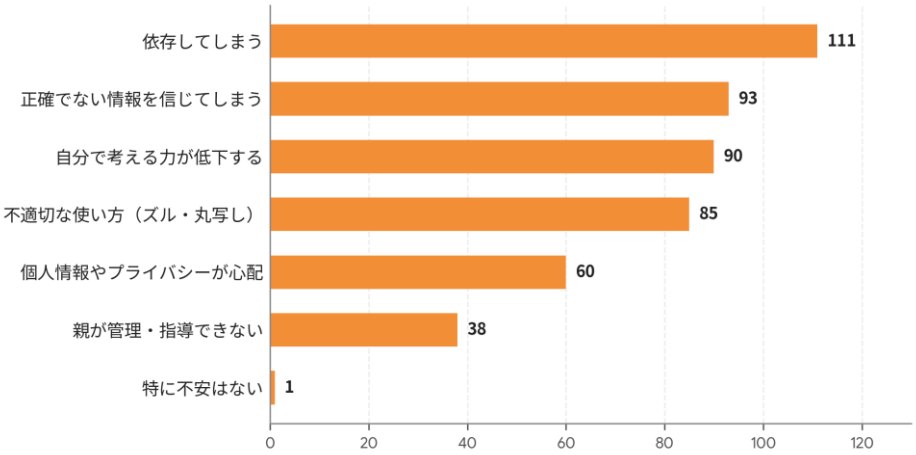
常に感じる」(20)、「やや感じる」(127)を合わせて 72.8%(147 人)の親が不安を感じていることがわかりました。

不安を感じると回答した方に「どのような不安を感じますか？＜MA＞」と尋ねたところ、「依存してしまう」(111)が最多となり、次いで「正確でない情報を信じてしまう」(93)、「自分で考える力が低下する」(90)、「不適切な使い方(ズル・丸写し)」(85)が上位を占めました。この結果から、AI の利便性を認めつつも、子どもが思考を AI に委ねてしまうことや、情報の真偽を見極められないまま受け入れてしまうことへの懸念がうかがえます。

Q. 子どものAI活用に対して、不安を感じますか？＜SA=202＞



Q. 上記質問で「非常に感じる」「やや感じる」と回答した方にお聞きします。
どのような不安を感じますか？＜MA=147＞



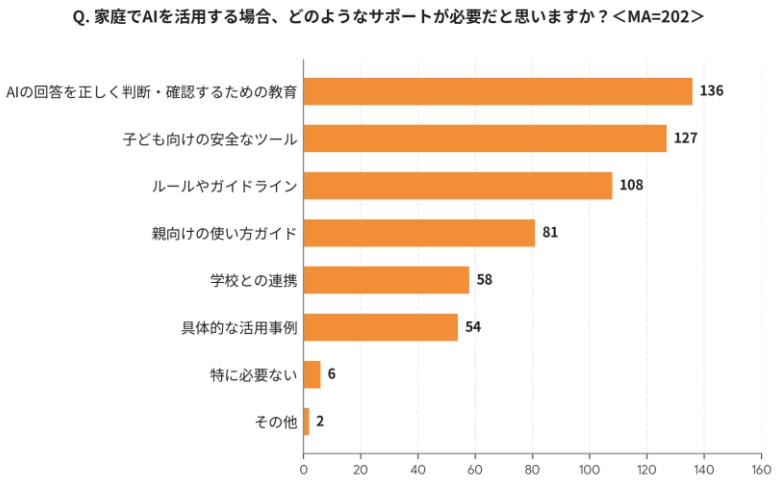
4. 家庭での AI 活用に必要なサポートは「AI の回答を正しく判断・確認するための教育」が最多に！ ツールやルール整備とあわせ、情報を自ら見極める力を育む教育へのニーズも高い結果に。

「家庭で AI を活用する場合、どのようなサポートが必要だと思いますか？＜MA＞」と尋ねたところ、「AI の回答を正しく判断・確認するための教育」(136)が最多の回答となりました。次いで「子ども向けの安全なツール」(127)、「ルールやガイドライン」(108)、「親向けの使い方ガイド」(81)が続く結果となりました。

AI を安全に使うための環境やルールづくりが求められるのと同時に、最も多くの親が「回答を正しく判断・確認するための教育」を必要としています。このことから、AI 時代には、ツールの使い方にとどまらず、自ら確かめ、考え、判断する力を育む学びの機会が求められていると考えられます。あわせて、こうした力を支える土台として、学ぶ意欲や好奇心といった非認知能力を育むことも、AI 時代の学びで重要になると考えられます。

＜報道関係者お問い合わせ先＞
イー・ラーニング研究所　広報担当：鈴木・片岡
TEL:06-6339-4177　FAX：06-6339-4180　MAIL：marketing@e-ll.co.jp

＜報道関係者各位＞



【『子ども未来キャリア』 概要】

『子ども未来キャリア』は、子どものときから夢や目標を持ち、グローバル社会で必要となる知識と能力を育む、キャリア教育用ボードゲーム教材です。ボードゲームを通じた疑似体験と、スライド教材を活用した学習を組み合わせた「遊び×学び」を融合した内容で、主体的に楽しく学ぶことができます。

■URL　　：https://mirai-career.jp/

■販売対象　　：全国の学童施設や学習塾、学校など、教育関係の企業・組織
　子ども向けの体験型イベントを開催される企業等とのコラボレーション

■教材対象年齢　：小学生・中学生・高校生　※その他要相談

■学習テーマ

・「教育用！資産形成ゲーム」
・「教育用！コミュニケーションゲーム」
・「教育用！事業投資ゲーム」
・「教育用！ディスカッションゲーム」
・「教育用！おつかいゲーム」
・「教育用！情報推理ゲーム」
・「教育用！キャリアデザインゲーム」
・「教育用！多様性ゲーム」
・「教育用！SDGs ゲーム」
・「教育用！防災ゲーム」
・「教育用！チームワークゲーム」
・「教育用！リーダーシップゲーム」
・「教育用！シティズンシップゲーム」



【株式会社イー・ラーニング研究所】

名称　　：株式会社イー・ラーニング研究所
本社　　：大阪府吹田市江坂町 1 丁目 23-38 F&M ビル 6F
代表者　：代表取締役　吉田智雄
URL　　：https://e-ll.co.jp/

＜報道関係者お問い合わせ先＞
イー・ラーニング研究所　広報担当：鈴木・片岡
TEL:06-6339-4177　FAX：06-6339-4180　MAIL：marketing@e-ll.co.jp